平成25年第3回定例会 ◆発言者一覧◆

	発言順:1	加藤和彦(自由民主党・仙台)
平成25年第3回定例会(第2日目) 2013.09.09	発言順:2	安孫子雅浩(市民フォーラム仙台)
	発言順:3	庄司俊充(復興仙台)
	発言順:1	鈴木広康(公明党仙台市議団)
平成25年第3回定例会(第3日目) 2013.09.10	発言順:2	花木則彰(日本共産党仙台市議団)
	発言順:3	大槻正俊(社民党仙台市議団)
	発言順:1	やしろ美香(自由民主党)
	発言順:2	渡辺敬信(市民フォーラム仙台)
平成25年第3回定例会(第4日目) 2013.09.11	発言順:3	渡辺博(復興仙台)
十成20千第3回足例云(第4日日) 2013.09.11	発言順:4	佐藤和子(公明党仙台市議団)
	発言順:5	高見のり子(日本共産党仙台市議団)
	発言順:6	相沢和紀(社民党仙台市議団)
	発言順:1	及川英樹(みんなの党・みんなの仙台)
	発言順:2	大泉鉄之助(自由民主党)
平成25年第3回定例会(第5日目) 2013.09.12	発言順:3	菊地崇良(自由民主党・仙台)
一次20年第6回足例会(第3日日) 2016.0 9 .12	発言順:4	加藤けんいち(市民フォーラム仙台)
	発言順:5	髙橋次男(復興仙台)
	発言順:6	小田島久美子(公明党仙台市議団)
	発言順:1	ふなやま由美(日本共産党仙台市議団)
	発言順:2	石川建治(社民党仙台市議団)
平成25年第3回定例会(第6日目) 2013.09.13	発言順:3	早坂あつし(みんなの党・みんなの仙台)
〒7,9,20 〒 おり凹 足 例 玄(おり口 日 / 2015, 09, 10	発言順:4	小野寺健(市民フォーラム仙台)
	発言順:5	小野寺利裕 (公明党仙台市議団)
	発言順:6	小野寺淳一(みんなの党・みんなの仙台)

発言順:1 加藤和彦(自由民主党・仙台)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
 1 : 2020年東京オリンピック招致決定による本市への影響と効果	0	0	0	0
2:今回の市長選挙の選挙結果(選挙への関心が低調。過去 最低の投票率。無効投票7184票)をどのように受け止め ているか。	0	0	0	0
3:本市復興事業の現状と今後に向けた課題認識。復興の加速化を図る決意。今後の市政運営についての市長の所見。	0	0	0	0
4:市民協働とまちづくりをどのように考え、どのように具 現化していくのか。	0	0	0	0
5:平成24年度決算をどのように捉えているか。	0	0	0	0
6: 復興と市の財政状況の関係 ・それを市民にわかりやすく説明する必要性 ・今後の行政需要を支える財政基盤の確立の必要性	0	0	0	0
7:第二次産業の振興についての市長の所見	0	0	0	0
8:ILCの誘致の将来展望について	0	0	0	0
9:東日本大震災の復興について ・津波浸水区域の住宅再建支援の拡充を求める意見に対する認識 ・被災宅地の復旧工事の入札の不調や資材不足等による影響の見込み ・折立小学校の復旧工事の完了時期と今後の計画 ・復旧後の被災者の再建の見込みとまちづくりの進め方 ・復興公営住宅が計画通りに進んでいない状況 ・3000戸の復興公営住宅をどのように進めて行くのか ・復興公営住宅の供給目標値の新たな設定 ・仮設住宅に住む被災者に対する支援と当局の取り組み	0	0	0	0
10: 広瀬中学校の過大規模解消等の検討の必要性	0	0	1	1
11: 待機児童の解消について ・保育所の質の確保(保育所の経営の安定。保育士が保育に専念できる環境) ・少子化も考慮した施設整備 ・民間の認可外保育施設の保育士の育成についての対応等	0	1	0	1
12: 宮城県広域防災拠点構想について ・仙台貨物ターミナル移転への本市の関わり。検討の体制。議論状況。 県の基本構想等。 ・県が広域防災拠点として宮城野原を選んだ理由	0	0	0	0
13:新展示施設について ・事業費の根拠と財源 ・交流人口拡大の切り札としての利活用 ・国連防災世界会議の開催とビジネスチャンス ・災害関連産業の集積に向けての市長の計画 ・国連防災世界会議開催後のコンベンション誘致の方針と見込み	0	0	0	0
14:公約にある中小企業支援条例の方向性	0	0	0	0

15: 水族館事業と高砂中央公園について ・水族館事業の協議項目、スケジュール、事業会社との協議計画 ・高砂中央公園の基本計画の進捗状況 ・同時オープンの可能性 ・周辺の交通渋滞についての所見と対策 ・事業会社、仙台市の津波対策	0	0	0	0
16: 市立病院について ・工事の遅れの要因。今後の見込み。対応。 ・開院に向けた医師の確保	0	0	0	0
	0	1	1	2

【コメント】

3, 4, 5, 6, 7, 8, 10, 11, 14⇒抽象的課題を提示し、当局の見解、方針を尋ねる質問にどれだけの意味があるか検討する必要がある。 9, 12, 13, 15, 16⇒担当者に事前に確認すれば足りることを本会議で尋ねる必要があるかどうか検討する必要がある。

発言順:2 安孫子雅浩(市民フォーラム仙台)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
 1 : 2020年東京オリンピック開催についての市長の所見	0	0	0	0
2:選挙選を通じて何に気付き、どのような二期目の抱負を持ったか。	0	0	0	0
 3:故藤井元市長の墓前で何を語り、何を誓ったか。 	0	0	0	0
4:人口減少による歳入の落ち込みと福祉的経費等の歳出の 拡大による歳入歳出の格差の拡大を背景とする行政サービス の受益と負担の見直しについての所見	0	0	0	0
5:仙台市都市圏広域行政推進協議会の今後の活用	0	0	0	0
6:被災者の希望に可能な限り適う形で復興公営住宅に入居 できるよう配慮するべき	0	0	0	0
7:市営住宅戸数の需給バランスの検討の必要性	0	0	0	0
8:宅地被災地区の宅地の復旧工事の遅れと町内会役員の負担の改善の必要性(工事のスケジュールを当該地区に情報提供を行う方策)	0	0	1	1
9:地域版の避難所運営マニュアル作りが進む避難所とそうでない避難所の格差の解消と地域ごとの自助と共助の備えが第一であることを確認させるための市側の働きかけ	0	0	0	0
10:本市として策定を目指していく中小企業支援条例の目的について	0	1	0	1
11: バンコクとの定期便就航を機会に福島の農産物の風評被害払拭を目的として、福島、山形との3市連携の観光物産展の再開を検討するべき	0	0	1	1
12:任期中の4年間で新規雇用数10万人の創出を目指す公 約の具体的な中身	0	0	0	0
13:スペイン、セビリアとの交流事業の再開の必要性とそれ にいての所見	0	0	1	1
14: 仙台市民全体の総力をあげて東西線事業を盛り立ててい く必要性とそれについての所見。市民応援部の育成と構想。 仙台駅周辺の大改造の計画。	0	0	0	0
15:新たな市民協同指針の策定に向けての市長の所見と地域活性化のモデル事業としての仙台版まちづくり特区の設置について	0	0	0	0
16:せんだい保育室の新制度への移行に向けた市の取り組み と保育総量を2万人に拡充する方策	0	0	0	0
17: 学校規模の適正化への検討と学校施設跡の施設の利活用 ・新たな学校規模の適正化に関する指針の策定 ・学校施設跡の施設の利活用に関する指針の策定	0	1	1	2
18:女性の登用率の向上に向けた市長の見解	0	0	0	0
19:認知症対策と地域包括支援センターの役割についての見解	0	0	0	0
20:国が介護保険制度と国民健康保険事業の大幅な見通しを 進めていくことに対する所見	0	0	0	0

21: 市役所改革について ・専門性を有する職員の適正配置による業務の効率化に向けた取り組み・適切な道路。橋梁の維持、管理と施設の長寿化対策 ・行財政改革プラン2010中間見通しの実績報告及び進行管理表	0	0	0	0
22: ガス局としての原料調達の基本的な考え方(マレーシア LNG社との期間満了期を見据えた次期の原料調達)	0	0	0	0
23:新市立病院の工期の遅れとそれによる影響(移転準備, 開院時期)と対応策	0	0	0	0
24: 蒲生, 荒浜, 井土の三地区の従前施設への復旧並びに再 整備の予定と避難の丘の整備	0	0	0	0
25: 防潮堤の再整備に関連して ・防潮林の再生に向けた植林計画 ・消防局の旧荒浜ヘリポートの今後の見通し	0	0	0	0
	0	2	4	6

- 4 ⇒行政サービスのどこをどのように見直すべきかが重要。 5 ⇒推進協議会をどのように活用するかが重要。 6 ⇒「被災者の希望に可能な限り適う配慮」とは何かが重要。 7 ⇒需給バランスをどのようにとるべきかが重要。 9 ⇒格巻の原因は何かが重要。自助と共助の備えが第一であることを確認させるためにどのように働きかけるべき がが重要。 10. 12. 14. 22. 23⇒担当者に事前に確認するべき事項が含まれている。

発言順:3 庄司俊充(復興仙台)

質問	①事前 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③ 改善案 (0~3点)	合計
1:今回の市長選挙で示された厳しい現実(抵投票率, 70 00票以上の無効票)をどのように受け止め、今後どう対応 していくのか、市長の所見	0	0	0	0
2:実質収支額が43億8000万円の黒字になった理由	0	0	0	0
3: 国からの復興財源担保の見通しについて ・特別交付税のうち、震災対応に係るものの金額と内容及び震災対応に係る特別交付税の今後の見通し ・震災復興基金の設置以降の積立額、取り崩し額とその内容。今いくらあるか。	0	0	0	0
4: 消費税の引き上げによる本市への影響について ・市の財政負担の増加の見込みと対応 ・公共料金への影響(改訂)と対応	0	0	0	0
5:地域防災計画中の風水害等災害対策編の見直しについて ・その基本的方向性やポイントと見直しのスケジュール ・雨水対策と雨水排水施設の整備を急ぐ必要性と現在の整備の方針 ・地下鉄への流入予防策	0	0	0	0
6:都市計画道路が廃止された地域の道路整備の必要性	0	0	0	0
7: 【 C乗車券について ・ I C乗車券で実現するサービスの基本的な考え方・導入のための事業者の負担軽減策・ S u i c a との連携に関する J R との協議の状況・ I C乗車券導入後の磁気カード乗車券の存続	0	0	0	0
8: 認知症対策 ・認知症対策 ・認知症初期集中支援チーム設置促進モデル普及啓発推進事業、認知症 医療支援診療所地域連携したモデル事業が早期発見、早期対応を目標と したものかどうか ・早期発見、早期対応以外の認知症対策	0	0	0	0
9: 泉岳自然ふれあい館について ・工事は予定通り進んでいるか ・予定通り竣工するための工夫や努力、今後の見通し ・指定管理者への業務引き継ぎ ・指定管理者と地元との連携	0	0	0	0
10: 農業園芸センター再整備について ・農業園芸センター再整備について ・農業園芸センター再整備の経緯と今後のスケジュール ・東部地域の農業の復興(本市の農業振興)に向けての行政の適切な支援 ・民間活力の導入と利用者である農業者等に対するサービスの向上	0	0	0	0
11:新展示施設 ・地域の住民も気軽に参加できるようにするべき・民間事業者のノウハウを十分に生かせる仕組み・駐車場の確保	0	0	1	1
	0	0	1	1

【コメント】

2.3.4.5.7.8.9.10⇒事前に担当者に確認し、問題点を把握してから質問するべき。事前調査が不足している。 6⇒どこの地域のどの道路が危険か、調査結果を突きつけて質問するべき。 10⇒「行政の適切な支援」とは何か、「農業者に対するサービスの向上」とは何かを具体的に提示する必要があ

る。

発言順:1 鈴木広康(公明党仙台市議団)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:2020年東京オリンピック決定についての市長の感想	0	0	0	0
2:市民の気持ち、被災された方々の気持ちをどのような形 で痛感したか	0	0	1	1
3:復興公営住宅を(3000戸から)一定程度増やすこと をどのように検討しているか	0	0	0	0
4:中小企業支援条例制定への決意	0	0	0	0
5:国連防災会議の成功と大型コンベンション施設を活用した次の大型イベント誘致をどのように進めていくか	0	0	0	0
6:貞山運河再生、活用をどのようにしていくのか	0	0	0	0
7:認可外保育所がスムーズに認可移行できるようどのように対応していくのか。現在の保育施設でどのような改善をすれば、支援制度に合致した移行ができるのか。課題についての調査を実施するのか	0	0	0	0
8:新型インフルエンザ等の対応計画はいつごろまでに作成するのか	0	0	0	0
9:本市の入札不調は減少したのか	0	0	0	0
10:若年層の雇用の確保(復興現場の声を聞き、建設業で働くことの魅力をSNSやツイッター、ホームページで発信してはどうか)	0	0	1	1
11:平成28年度の自主財源比率はどれだけになるか	0	0	0	0
12:平成24年度の決算で、市税収入が平成23年度と比較 して115億8800万円増加しているがこれはどのような 影響によるものか	0	0	0	0
13:平成26年3月までの震災廃棄物資源物売り払い分の収 入額と引き取り後の活用方法	0	0	0	0
14:震災復興計画に基づく本市全体の復興事業の進捗度合い	0	0	0	0
15:ドクターヘリを活用した教命教急のあり方。県境における広域運用について村井知事に要請し実施に向けて積極的に取り組むべき	1	0	1	2

16:宮城県広域防災拠点の平時の有効活用についての所見	1	0	1	2
17:記憶が風化する前に災害受援計画の策定作業に入るべき	1	1	2	4
18:民間活力を利用しながら災害弱者になり得る外国人旅行者等が多言語対応、時間限定無料で利用できる無線LAN整備を行うべき。本市を訪れる国内外の観光客に仙台市公式観光アプリを無料で登録提供するべき	1	0	2	3
19:障害者保健福祉計画に基づく入院時コミュニケーション 支援事業をいつからスタートさせ、どのような支援サービス になるのか。仙台市重度障害者コミュニケーション支援セン ターを24時間365日活用できるようにするべき	1	0	2	3
	5	1	10	16

- 7, 8, 9, 11, 12, 13, 14→担当者に事前に確認すれば済む質問。事前調査が不足している。 2, 3, 4, 5, 6 ⇒課題を一般的な形で掲げ、当局の見解を尋ねる形式の質問。実効性を検討する必要がある。 17, 18, 19⇒具体的な改善案を伴った優れた質問。

発言順:2 花木則彰(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:市長は前回の選挙で批判票を投じた方、投票をしなかった方々も含めた106万市民の声に真摯に耳を傾け、市政に生かすことに心を砕くべきではないか	0	0	0	0
2:市長は医療費・介護利用料免除打ち切りについて被災者にどのような影響を及ぼしているか認識しているか・被災者に背を向けた県と仙台市の結託はやめるべき・医療費・介護利用料の被災者への免除は復活させるべき	1	0	1	2
3:保育所待機児童解消について ・安上がりにすませたい、詰め込みでも何でも我慢しなさいという冷たさが、政治にこれだけは何とかしてほしいと期待する若い人々を引き離していることに気がつかないのか ・公立保育所抑制策を進めてきた国も自治体も反省すべきではないか ・堤保育所と愛子保育所の廃止を撤回し、認可保育所の整備、公立保育 所の整備に真っすぐに取り組むべきではないか	1	0	1	2
4:復興と復興の先のまちづくりのビジョンについて ・コンベンションホールの予算の膨張等箱物づくりに関することなら市長にとって10億円20億円は軽いものか・震災・復興を機に、まちづくりのビジョンを根本から見詰め直す必要がある・地域循環型の経済の発展をビジョンとするべき・仙台市基本構想、基本計画を箱物優先から市民生活と復興優先へ見直しすることを求める・地域循環型の経済のためには公共事業の分離分割発注、大型公共事業から身近な公共事業に税金の使い途の重点を移すべき・公契約条例をつくって、市の発注する工事や仕事で働く人たちの時給を引き上げるべき・市民と協働で「中小企業振興条例」をつくるべき	1	1	1	3
5: 県と仙台市との関係 ・お互いの悪政をかばい合うのではなく、県政の問題点を積極的に明らかにするべき ・県政の課題(医療費免除の復活、子どもの医療費助成全国最低の水準の引き上げ、目的不明な環境税、仙台市内の特別支援学校をさらに増やすこと等)について意見表明すべき ・女川原発の再稼働を許さず廃炉にするべき	0	0	1	1
6:市民との対話を強調するなら面会を求める市民には会っ て話を聞くべき	0	0	1	1
7:2012度決算の特徴について ・震災後の2年間で市の歳入が3940億円増えているが、これは救援・救済、復旧・復興に十分使われていないからではないか・震災分の120億円を超える黒字は復興に使うべきお金を持て余しているからではないか・震災分の人件費の不透明な算出方法・公共施設等の復旧だけではなく、被災者の生活再建にも力も予算も振り向けるべき	1	0	1	2

8: 仙台市の復興予算の使い方と生活再建の遅れについて ・復興公営住宅は希望者全員が入居できるようにするべき ・被災地域のコミュニティーを再建するために津波地域とその集団移転 先に復興公営住宅を整備すべき ・住宅再建支援策の問題点と改善の方向性	1	0	2	3
9:安倍政権の悪政についての市長の考え ・反対の意思を表明するべき ・消費税の引き上げは行うべきではないと大奮闘するべき	0	0	0	0
	5	1	8	14

【コメント】

3⇒「安上がりにすませたい」「冷たさ」等の質問者の断定的な評価が聞く側にどのような効果をもたらすのか再検討すべき。聞く側にこのような評価を下させることを目的とするならば工夫が必要である。質問者の断定は逆効果。保育の民営化の是非は保護者の評価を含め総合的検討が必要。

4⇒「分離分割」「公契約条例」「中小企業振興条例」は他都市の実例と効果を詳しく引いた価値のある質問。

発言順:3 大槻正俊(社民党仙台市議団)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:史上最低の低い投票率の仙台市長選挙をどのように受け止めているか	0	0	0	0
2:二期目の新生・仙台へ向けての意気込み、抱負	0	0	0	0
3:市民協働の考え方について (市民への押し付け、説明不足、理解不足にならないよう、さらに市民 の声を聞く、提言に耳を傾ける姿勢を保ち続けることが必要)	0	0	0	0
4:4年間の数値目標(新規雇用10万人創出、保育総量2万人確保、介護サービスの受け入れ枠拡充、グループホーム・ケアホームの受け入れ枠400人拡充)は現状から見て正しい認識か。これまでの仙台市の取り組みについての認識。これをどのように達成していくのか	0	0	0	0
5:東北全体との連携、県内自治体との連携について ・国際リニアコライダーの誘致と仙台市の役割 ・川崎町との広域連携による市民の健康と生きがいづくり	0	0	0	0
6:東北電力の電気料金の値上げについて (現行の総括原価方式の見直しを国に求めていくべきではないか)	0	0	1	1
7:東電福島原発事故について ・原子力防災計画の最終計画づくりにどのように取り組んでいるか ・汚染水問題について国に緊急に対策をとるよう強く求めていくべき ・内部被曝について市民の不安を取り除く取り組みの必要性	0	0	1	1
8:丘陵部被災者向けに設定した復旧工事助成金制度の申請が約2割にとどまっている現状と周知方法の検討、きめ細やかな相談体制	0	0	1	1
9: (市税収入が伸びるという予測があるものの)地方交付税や復興関係の特別交付税が減縮されていくので、何らかの財政措置をしっかり国に求めていくべき	0	0	0	0
10:今後3年間の収支差916億円と今後の財政状況の見通し	0	0	0	0
11:都市計画道路全般の見直しと将来にわたり持続可能な財政基盤の強化の重要性と国への要望、税等の収納率の向上、 外部資源の活用をどのように進めていくか	0	0	0	0
12: 市税徴収の取り組みについて ・昨年10月の税務組織再編の効果 ・滞納整理期間の拡大実施と取り組みの結果 ・これまでの奮闘状況、今後の決意	0	0	0	0
13:震災復興関係の寄附がどのような方々から、どのような 地域から寄せられているか。ふるさと納税寄附金の拡大に向 けての今後の取り組み	0	0	0	0

14:中小企業支援条例の制定をどのようなプロセスでどのような取り組みの積み重ねで作り上げていこうとしているのか	0	1	0	1
15:起業家育成等の新たな産業政策立案に必要な調査について (どのような形での起業を育成していくのか。意欲のある方々にどのように学びの場を提供していくのか)	0	0	0	0
16: (仮称) 国際センター駅間辺地区への新展示施設建設について ・外国人をガイドできる施設を取り入れるべき ・歩く観光への対応も十分にできる体制 ・自然災害にも耐えられる安全な歩道 ・仙台市・宮城県の物産を紹介できる場所 ・トイレの数、女子トイレ、多目的トイレの設置	0	0	1	1
17:東西線沿線のまちづくりの取り組みについて ・2年しかないとの意識を仙台市全体が持って取り組むべき ・駐輪場の整備等できる限りのことをやり切り開業を迎えるべき ・周辺の道路の総点検、歩きづらい道路の改良 ・まちづくり市民応援団の応援内容 ・東北工業大学との連携 ・エスカレーターやエレベーターの設置、パークアンドライドの活用 ・車両自体の魅力づくり ・南北線と違うことを広報する必要	0	0	1	1
18:新仙台市病院について ・再延期にならないようにすべき ・アクセスの整備 ・隣接する公園の防災機能 ・院内保育所の人材確保、研修等の準備	0	0	1	1
	0	1	6	7

- 8⇒「約2割にとどまっている」理由の調査が必要。 9⇒「何らかの財政措置」とは何か。何を国に求めるかが重要ではないか。 12⇒「税務組織再編の効果」等は事前に調査し、良い点と改善するべき点を事前に知った上で質問するべき。 13⇒「どのような方々から」「どのような地域から寄せられているのか」は事前に調べることが可能。調べることができることは調べてから質問するべき。

発言順:1 やしろ美香(自由民主党)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:子育て支援の拡充について(産後うつ病早期発見のために実施しているエジンバラ産後うつ病質問票の効果がどのようにあらわれているか)	0	0	0	0
2:乳幼児健康診査等について(健診率が(回を増すごとに)徐々に低下していること、3、4ヶ月育児教室の受講率が70%台となっていることについて対策はとられているか。受診率を上げる工夫の必要性)	1	0	0	1
3:子育て支援施策の拡充について ・女性のための健康支援教室について(宮城野区のみ開催されていない 理由) ・虐待グループミーティングのみとなっている理由 ・施策のさらなる充実を目指す必要 ・育児の孤立化対策を急ぐべき ・世田谷区の産後ケア事業と在仙の医療系、保育系の学校との連携	1	1	2	4
4:低所得世帯の子どものための学習サポート事業について ・無料公立高校受験対策講座タダゼミが現在でも継続しているのかどうか。仙台市の支援内容、成果についての認識 ・7月よりスタートした低所得世帯の子どものための学習サポート事業とタダゼミの違い ・低所得世帯に対する学習授業の対象者数、受け入れ先、業務委託先の確保、対象地域拡大についての考え、対象世帯に対する呼びかけ、参加率8%をどのようにとらえているか、一人でも多くの子どもに支援の手が届く取り組みの必要性、会場確保の現状 ・高校入学後の継続的支援の必要性 ・高校に進学できなかった子どもたちに対する支援 ・子どもたちの経済的自立に向けた本事業の拡充の必要性	1	1	2	4
5: 被災地の経済復興について ・経済の現状、景況指数の推移 ・復活しつつある経済を継続させるための施策 ・アベノミクスの影響と評価、中小企業がアベノミクスを活用するため の仙台市の支援	0	0	0	0
6: GISの活用について ・GISの更新の進捗状況 ・更新による課題改善の見通し ・庁内GISの地図とデータを連動させた活用方法と職員研修 ・GISのさらなる活用が図られるべき	1	0	1	2
7: 災害時要援護者についての取り組み ・災害時要援護者情報登録制度を導入したねらい ・登録制度と地域における共助の取り組みとの関係 ・災害対策基本法の改正と要援護者名簿の位置づけ	1	0	0	1
	5	2	5	12

- 1⇒「質問票の効果」については事前に担当者に確認して質問する必要がある。
- 3⇒他都市の事例をふまえた優れた質問
- 4⇒具体的で優れた質問 6⇒「進捗状況」「課題改善の見通し」は事前に調査しておく必要がある。

発言順:2 渡辺敬信(市民フォーラム仙台)

質問	①事前 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:本市が後援しているお祭りやイベントについて ・地下鉄東西線の工事による七夕祭前夜祭の花火大会打ち上げ場所の変 更と本市にとっての花火大会の位置づけ、場所の変更の交渉への関わり ・七夕祭りに対する支援体制の強化の必要性	1	0	0	1
2: 仙台市海岸公園復興基本構想について ・海岸公園の野球場の再整備の必要性 ・アンケート調査結果の基本計画への反映 ・海岸公園の再整備とネーミングライツ ・海岸公園が現状復旧できないのであれば既存施設の改修にあたり硬式 野球も使用可能となるよう施設の更新を図るべき	1	0	2	3
3:市内小学校校庭及び街区公園の維持管理と公園面積の拡充について ・小学校校庭及び街区公園の表土の維持管理についての考え方 ・子ども一人あたりの公園面積20㎡を着実に成し遂げるべき	1	0	0	1
4:本市の道路整備について(震災前に維持改修に着手していて工事が遅れている路線の改修工事の工期スケジュール等を住民に説明すべき)	1	0	1	2
	4	0	3	7

【コメント】

2⇒調査をふまえた優れた質問

発言順:3 渡辺博(復興仙台)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 仙台市のまちづくりと防災拠点(宮城野原貨物ヤードと総合運動公園)との関係について・短時間での計画づくりではないか・宮城県からの要請、本市からの要望・仙台市の市民の福利向上のために必要なエリアでもあるのではないか・生活用道路整備が必要なエリアでもあるのではないか・宮城県に対する今後の対応・住環境の維持、地域住民の理解と協力、意見を反映させる仕組み・貨物ヤードの移転先	0	0	0	0
2:駅東第二地区事業費について ・昨年度の事業の進捗状況 ・事業の現況 ・地元にこれ以上の不利益をこうむらせないための最大の配慮の必要 ・地域コミュニティー維持のための社会インフラの整備の必要 ・榴岡小学校の児童数増加への対応	1	0	0	1
3:地方分権改革について ・西尾勝氏の講演内容 ・地方制度調査会の成果の活用の必要 ・西尾勝氏の講演内容と特別自治市の実現 ・仙台都市圏の自治体とともに前に進むためにも本市の目指す都市像を 示す必要性 ・道州制推進の宮城県との協議の必要性	0	0	0	0
4:空き家対策について ・昨年度から今日までの仙台市当局の現行制度のもとでの取り組みと成果 ・先進自治体の空き家条例の問題点 ・国、国会に対して法整備を働きかける好機	0	1	1	2
	1	1	1	3

【コメント】

1⇒「宮城県の要請」「本市からの要望」は事前に調べておく必要がある。宮城野原貨物ヤードと総合運動公園を 広域防災拠点として整備することに賛成なのか(賛成を前提に条件をつけているのか)反対なのか明確にして質問 するべき

「昨年度の事業の進捗状況」「事業の現況」も事前に調べておく必要がある。 3⇒「西尾勝氏の講演内容」に基づき何を質問したいのか質問の趣旨が不明。特別自治市とは異なる「本市の目指す都市界」とは何か、質問者の見解を明確にして質問するべき。

4⇒「現行制度のもとでの取り組みと成果」も事前に調べておく必要がある。

発言順:4 佐藤和子(公明党仙台市議団)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:2020年東京オリンピック開催を被災者が笑顔で迎えることができるようにするための市長の所見	0	0	0	0
2: 高齢者の健康づくりについて ・グランドゴルフの現状と認識 ・グランドゴルフの環境整備(利用頻度の少ない野球場等の利用や利用料の割引) ・専用のグランドゴルフ場(高砂中央公園) ・杜の都せんだい「元気はちらつチャレンジカード」事業の現状(利用者数の横ばい)と認識 ・同事業の広報と今後の取り組み	2	0	2	4
3:市営住宅の維持管理について ・ユニットバスの整備(老朽化した住宅、入居者が持参した風呂釜が故障し交換となった場合、高齢者の住みかえの場合を優先的に整備すべき) ・リフォーム(転居後すぐにリフォームすべき) ・本市の管理指導(リフォームを建設公社がしっかり点検すべき)	1	0	2	3
	3	0	4	7

【コメント】

2, 3 ⇒調査を踏まえ具体的な改善案を伴った優れた質問

発言順:5 高見のり子(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:被災者へのさらなる支援の必要性についての所見	0	0	0	0
2:希望者全員が入居できるよう復興公営住宅を整備すべき。被災住民のアイデアや提案を積極的に生かした復興公営 住宅づくりに取り組むべき。	1	0	1	2
3:現在の住宅を国から譲り受けて復興公営住宅にしてほしいという川内公務員住宅の住民の要望を受け止め実現するべき	0	0	1	1
4:仮設住宅から復興公営住宅に移る際の敷金を免除するべき	0	1	1	2
5:宅地被害の復旧のための被災宅地復旧工事助成金制度について ・経済的負担の軽減策の必要 ・ジャッキアップや地盤強化などの費用も支援の対象にすべき ・擁壁の修復の調査と同時に宅地の状況や住宅の再建状況についても調査すべき	1	0	2	3
6:津波浸水地域の盛り土やかさ上げ支援について(実態を調査し適用基準の見直しを含め使いやすい制度に改善する必要性)	1	0	2	3
7:住宅再建への実費補助制度をつくるべき	0	1	1	2
8:被災者の住民団体と十分話し合い問題解決に向けて努力 するべき	0	0	1	1
9:災害危険区域に指定されている地域であっても安全に居 住できる方法を住民と一緒に探るべき	0	1	1	2
10:海岸公園の整備の中で住みたいという住民が安全に住め る方策をとるべき	0	0	1	1
11:水族館誘致を進めるために高砂中央公園への集団移転を 拒んだのではないか	0	0	1	1
12:蒲生北部地区を業務地区として被災市街地復興区画整理 事業を行うことに決定したことについて(被災者に減歩,清 算金を発生させる整理事業止めるべき)	1	0	1	2
	4	3	13	20

【コメント】

5, 6 ⇒具体的な提案を伴った優れた質問

発言順:6 相沢和紀(社民党仙台市議団)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:津波被害に対する独自支援策の拡充について(建てかえに対する直接補助制度、修繕に対する直接補助制度等、自治体間の支援内容の格差解消を行う必要性)	1	2	2	5
2:復興公営住宅の建設戸数の見直しと対応について ・入居希望者数と整備戸数との隔たり(調査内容における年齢などの特徴点、場所の人気度、追加整備戸数) ・増設となる場合の建設手法(建設手法の検討状況、公募買い取り整備の手法を用いるべき)	0	0	1	1
3:海岸公園の復旧・復興の進め方について(世代間の交渉 を意識した多目的整備を行うべき)	1	0	1	2
4:災害危険区域内の買い取り市有地の有効活用をどのよう に考えているのか	0	0	0	0
5:ガス事業における人件費や原材料の基準の厳格化と値上 げ幅の圧縮についての問題意識	0	0	0	0
6:市長の退職金制度について(より現実的で市民感覚で理解される退職金にするべき)	0	0	1	1
	2	2	5	9

【コメント】

1 ⇒他市町の調査結果と従前の答弁とのつながりを踏まえた優れた質問 2 ⇒事前に調査しその結果を踏まえて質問するべき

発言順:1 及川英樹(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①亭前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:介護保険について ・自立支援の現状の認識 ・包括的・継続的なケアマネジメント支援の環境整備の必要性についての所見 ・介護予防の新たな仕掛け ・第6期介護事業計画の実態調査の見直し ・介護サービスの需要と供給のバランスの分析・評価 ・自主グループの支援育成についての考え ・把握できた6割の介護予防の工夫 ・把握できていない4割の課題 ・豊齢カチェックリストと煩雑な事務手続 ・仙台市から健康寿命を発信するべき	1	1	1	3
	1	1	1	3

【コメント】

1⇒介護保険について多角的に分析し、具体的な課題を提出しようとする努力は評価できるが、他都市に比較して何がよくて何が悪いのか理解しにくい。ポイントを絞って質問するべき。

発言順:2 大泉鉄之助(自由民主党)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1 : (復興に向けた歩みを加速させるとともに)復興後の地域社会の経済の進展・活性化の重要性と市長の決意・所見	0	0	0	0
	0	0	0	0

【コメント】

1⇒「復興後の地域社会の経済の進展・活性化の具体策」を質問者自ら提示する必要がある。

発言順:3 菊地崇良(自由民主党·仙台)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~ 2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:政府が提示した国家戦略特区について ・政府が提示した国家戦略特区の担当部署はどこか ・国からの情報提供の時期 ・本市としてのワーキンググループの検討状況・情報分析等の対応の経緯 ・分析対応にあたっての宮城県、各種団体、学術界との調整経緯・震災復興特区を国家戦略特区に包含して申請する必要性・ILCを国家戦略特区として申請するか否か・国家戦略特区の活用について積極的に取り組む必要性・国家戦略特区の私案	0	0	1	1
	0	0	1	1

【コメント】

1⇒「担当部署」「国からの情報提供の時期」「本市としてのワーキンググループの検討状況」等は、事前に調べておく必要がある。足元の調査が不足しているから提案も抽象的なものにとどまっている。国家戦略特区の前置きが長すぎるのではないか。

発言順:4 加藤けんいち(市民フォーラム仙台)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:双方向型のフェイスブックの体制整備の必要性	1	1	1	3
2: 仙台自分づくり教育と土曜日授業再開について ・スチューデント・シティとファイナンスパーク事業の来年7月の開設 に向けての準備状況と今後のスケジュール ・本市ボランティアの活用などスチューデント・シティとファイナンス パーク事業の運営体制 ・ファイナンスパークと職場体験活動の授業時間の確保 ・現在のタイトな授業時間で対応可能か ・土曜日授業再開を検討する必要性	2	2	2	6
3:国語教育の充実について ・土曜日授業を活用して講師を募集するなど、敬語の授業を取り入れて はどうか	1	0	1	2
4:地域力を活用した防災教育 ・平成25年度文部科学省委託事業の体験活動推進プロジェクトと本市とのかかわり ・本市の防災教育の一つの手法として防災キャンプ推進事業を制定してみてはどうか ・子供110番の家を子供一時避難所として協力を呼びかけてみてはどうか	2	0	2	4
5: 東北大農学部雨宮キャンパスの跡地利用について ・土地の売買を当局がどこまで把握しているか ・市民に親しまれる場になるよう開発事業者任せにせず、本市が積極的 にかかわっていく必要性 ・地域の声をしっかり受け止め、要望などについて対応していく必要性 ・窓口である区役所の役割強化 ・跡地利用と学校公共施設と人口配置について ・跡地利用と外国資本の土地売買についいて(土地売買、利用ルールの 整備の必要性) ・跡地を利用した庁舎の整備	1	0	2	3
	7	3	8	18

【コメント】

2 ⇒他都市の事例を踏まえ、問題点を具体的に指摘し、新たな検討課題も提示した優れた質問。 4 ⇒具体的提言を含む優れた質問。但し、「本市とのかかわり」は事前に調べておく必要がある。

発言順:5 高橋次男(復興仙台)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:田園の生態系について ・専門家、市民、生産者、農協などの協力を得ながら、津波被災地の生態系を含め、正しく現状を把握することが必要	1	0	1	2
2:地下鉄東西線開業機運の醸成について ・アクセス30分構想の原点に立って具体的利便性を説明する必要性 ・バス路線の再編の検討状況と説明も含めたスケジュール	0	0	1	1
3:新市立病院について ・精神科を担うに必要な医師の数、現在の人数、精神科の医師の着任がないことの原因 ・着任に向けての努力、着任の見通し、開業に向けて問題はないのか・紹介状なしの初診料の改定による影響 ・平成24年度決算の総患者数のうち、紹介状の有無の割合等	0	0	0	0
	1	0	2	3

【コメント】

3⇒「精神科を担うに必要な医師の数」「現在の人数」等は事前に担当者に確認する必要がある。

発言順:6 小田島久美子(公明党仙台市議団)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:東日本大震災の遺児の心のケアについての方向性と相談 の体制強化	0	0	0	0
2:有権者が選挙権の行使に誇りを持っていただける環境の整備について ・投票所のバリアフリー整備の強化 ・期日前投票の宣誓書の事前配布 ・投票所へのメモ等の持ち込み ・投票済み証明書の交付	1	1	2	4
3:市民に愛される市営バス事業の利便性向上について ・バス待ち環境の整備 ・バス停留所の新設 ・市民の声を求める努力	1	1	2	4
4:食物アレルギー対策について ・食物アレルギー対応の手引きの改訂 ・緊急搬送時の対応	1	1	2	4
	3	3	6	12

^{1⇒}前置きが長すぎるのではないか。本市の相談の体制の現状を自分で調べて、強化の方向性を具体的に提示する必 要がある。 2、3、4⇒具体的提言を伴った優れた質問。

発言順:1 ふなやま由美(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善来 (0~3点)	合計
1:障害を持つ子ども達の発達を保障し、より良い教育環境の充実について ・全国に先駆けて取り組んできた仙台の歴史と伝統を発展させて施策の推進を図るべき ・指導補助員を増やすべき ・必要なところに特別支援学級の非常勤講師を配置すべき ・国の特別支援学級の学級編成基準を引き下げさせるべき ・(国がやらなければ)仙台市独自で学級編制の基準を見直すべき ・少人数学級を確実に進めるよう国に強く求めるべき(同時に仙台市が少人数学級を実施すべき) ・通級指導教室をもっと増やすべき ・特別支援学校の増設の必要性 ・(特別支援学校を仙台市南部につくるべき) ・国に対して特別支援学校の設置基準をつくるよう求めるべき ・特別支援教育推進のためのプランの策定の必要性 ・障害者差別禁止条例を制定する必要性	3	2	3	8
	3	2	3	8

【コメント】

1⇒本市の現状についての詳しい調査、他都市の事例の調査を踏まえ問題点を多角的に捉え具体的提言を盛り込んだ極めて優れた質問。「現状を知っているのか」という質問がもっともっと必要。

発言順:2 石川建治(社民党仙台市議団)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善来 (0~3点)	合計
1:雇用の現状について ・雇用の現状についての認識 ・労働災害防止と根絶に向けた本市の取り組み ・労働者が低賃金と安全無視の劣悪な労働環境に置かれている実態を把握しているのか ・これまでの市の取り組みについて働く側の立場から見てどう評価しているか ・最低賃金の状況をどう受け止めているか。改善を図るために市にできることはあるか ・安倍政権の進めようとしている雇用や労働の規制緩和についての所見 ・公契約条例に対する当局の認識、他都市の調査と課題の整理状況 ・「一部の労働者だけを対象とすることに問題がある」との考え方を改めるつもりがあるか	1	1	1	3
	1	1	1	3

【コメント】

1 ⇒「最低賃金の状況をどう受け止めているか。改善を図るために市にできることはあるか」を当局に尋ねるのではなく、雇用現場の改善について市として公契約条例の制定以外に何ができるのか、何をすべきかを提示して質問する必要がある。

発言順:3 早坂あつし(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: いじめの問題について ・本市の現状把握と今後の対策 ・国立教育政策研究所や宮城県が行ったような調査を本市独自に行う意 向があるか ・第三者調査委員会の検討状況	0	0	0	0
2:教職員の不祥事について ・昨年8月末の携帯用スクール・コンプライアンス・シート配布後の効果と実績、不祥事数の前年比 ・宮城教育委員会が行っている校長の人材募集に取り組む意向があるか	0	0	0	0
3:道徳教育に取り組む意向があるか	0	0	0	0
4: 中高生のインターネット依存症について ・本市ではネットによるいじめ問題及びいじめ対策を現時点で行っているか ・本市では中高生のインターネット依存症についてどのように考え、対策を実施していくのか ・生の声を聞き、専門家と協議し問題発生を未然に防ぐ必要性	0	0	0	0
5:今回の市長選挙の低投票率が何を物語るのか。その結果 をどのように分析しているか	0	0	0	0
6:市と市民が共通し求めるべき目標を打ち出す必要性	0	0	0	0
	0	0	0	0

- 1 ⇒本市のいじめ問題の現状は質問者自ら調査を行う必要がある。 2 ⇒「配布後の効果と実績、不祥事数の前年比」は事前に調べておく必要がある。 4 ⇒本市の対策は事前に調べておく必要がある。具体的な対策をとっている他都市を調査し「こうするべきではない か」という質問を行うべき。

発言順:4 小野寺健(市民フォーラム仙台)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:中小企業への支援体制の充実について ・中小企業が海外に出ていけるようにサポートする必要がある ・中小企業支援条例を理念型ではなく具体的施策を盛り込んだものにすべき ・中小企業支援条例が何を目指しているか	0	0	0	0
2: TPPが仙台市に与える影響について ・TPPが仙台市とりわけ農業に与える影響 ・関税撤廃が決定した場合の地域農業としての対策	0	0	0	0
3:国際プロモーションについて ・仙台―バンコク線の継続的運行に向けた取り組みについての所見と施 策 ・受け入れ環境の充実	0	0	1	1
4:ICT環境の整備(公共施設等への設置を検討すべき)	1	1	1	3
5:地域医療について(市立病院における医師・看護師のコミュニケーション能力、その向上のための取り組み。苦情があった場合の対応)	0	0	0	0
6:小児教急について (北部の夜間・休日の小児医療機関の 必要性)	1	0	1	2
7:病児・病後児保育について(施設の数を増やす工夫)	1	0	1	2
8:劇場・音楽堂等の活性化に関する法律の施行について ・現段階における方針策定の状況 ・箱物を地域の文化拠点とするための考え(宮城県との連携) ・市民会館等の運営や、文化事業の現状の評価、青年文化センターの今 後の展開 ・学校教育現場での実演芸術の鑑賞と参加について	0	0	0	0
	3	1	4	8

【コメント】

1 ⇒「中小企業支援条例が何を目指しているか」は事前に調べておくことが可能。「具体的施策を盛り込んだもの」とは何か。他都市の事例を調査し、実施可能な施策の内容を具体的に指摘する必要がある。 5 ⇒市立病院の現状を自ら調査して質問する必要がある。

発言順:5 小野寺利裕(公明党仙台市議団)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:2年半経過した今の復興状況についての市長の認識	0	0	0	0
2:復興への決意	0	0	0	0
3:市長の描く新たな市民協働とはどういうものか	0	0	0	0
4:市民との対話についての所見	0	0	0	0
5: ふるさと杜の再生プロジェクトをどのように進めていく のか	0	0	0	0
6:小規模企業を活性化するためにどのように取り組んでい くのか	0	0	0	0
7:生活困窮者対策について (・本市においてこれまで働ける世代への支援をどのようにしてきたのか)	0	0	0	0
8: 子供の貧困について ・子供の貧困の本市の認識 ・局を越えて総合的に取り組む必要性と今後の取り組み	0	0	1	1
	0	0	1	1

【コメント】

1~6⇒課題を掲げて認識、所見を尋ねるだけの形の質問にどれだけの意味があるのか再検討する必要がある。 7⇒市の支援内容はあらかじめ調査して質問する必要がある。

発言順:6 小野寺淳一(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前· 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:帰宅困難者対策について ・9月2日の帰宅困難者想定避難誘導訓練によって見えてきた課題 ・今後の訓練のあり方についての所見(市内各所で行うべき、実践さながらの訓練を行うべき) ・一斉帰宅の自粛を市内の会社にどのように促していくか ・飲料水等備蓄の徹底 ・(仮称)仙台駅周辺帰宅困難者対策連絡協議会の今後の進め方	1	0	1	2
2: ガソリンの携行缶について(市民への注意喚起をどのようにされるのか)	0	0	1	1
3:低圧進相コンデンサの火災の危険性についての対応	0	0	0	0
4:スマートフォンなど携帯電話の歩行中の使用と危険防止 対策	0	0	1	1
5: 違法駐輪対策について ・撤去も行える駐輪禁止エリアの拡大など放置対策の強化を図るべき ・近隣の中学校の生徒による呼びかけ	1	1	1	3
	2	1	4	7

【コメント】

4⇒実際にどのような事故が起き、各地どのような対策がとられているかを調査し、それと仙台市の対策とを比較するべき。